

(4) 国際的な分野での人材育成について関係府省回答資料

○内閣府	2
○総務省（政策統括官）	3
○総務省（統計局）	6
○厚生労働省	7
○農林水産省	8
○経済産業省	9

内閣府回答

(4) 国際的な分野での人材育成について

確認すべきとされた事項	回答
①国際統計分野で活躍できるような職員の養成について、どのような考え(方針)をお持ちかご教示いただきたい。	職員が国際的な議論の動向等を的確に把握し、それを業務に反映させるため、可能な限り、OECD等国際会議への出席。 SNAに関する国際協力の観点から、JICA専門家としてタイ国NESDB(国家経済開発庁)に職員を派遣。
②今後、海外の政府統計機関への派遣を行うことに対して取組の方向性はあるかどうか、ご教示願いたい。(例えば、EurostatやStatistics Canadaへの短期研修等を検討してはどうか)	今後検討したい。

総務省（政策統括官）回答

（４）国際的な分野での人材育成について

確認すべきとされた事項	回答
①国際統計分野で活躍できるような職員の養成について、どのような考え（方針）をお持ちかご教示いただきたい。	総務省政策統括官（統計基準担当）室は、我が国の国際統計事務の総括に関することを所掌しており、国際統計分野で活躍できるような政府職員の養成については重要であると認識との下、以下の取組を行っているところ。 ・ 国際的な課題について各府省による情報共有、対応策の研究・検討を行う場として設置した「国際統計に関する関係府省等連絡会議」において、各府省等における現状と課題を明らかにし、具体的対応策の策定に資するため、「国際人材育成チェックリスト」を作成（別添参照）し、各府省から平成 21 年度実績の報告を受けた。 （※府省等から上記取組により報告されるグッドプラクティスを共有して実現可能性のある国際人材育成方針を導入する、また、各府省で実態の時系列分析により目標設定が可能となると考える。） ・ 当室が所管する事案に関する国際会議（国連統計委員会、OECD 統計委員会等）出席にあたっては、若手を中心として、出席の機会を与えるようにしている。
②今後、海外の政府統計機関への派遣を行うことに対して取組の方向性はあるかどうか、ご教示願いたい。（例えば、Eurostat や Statistics Canada への短期研修等を検討してはどうか）	海外の政府統計機関への派遣等については以下のように考えているところ。 ・ 海外への派遣については、人事院の短期在外研究員制度、外務省のアソシエート・エキスパート制度を利用することにより外国、国際機関の統計部局での研修が可能。必要とされる語学力を有する人材と環境が許せば積極的に派遣を検討したい。 ・ また、JICA 等を通じた統計技術援助支援については、当室に該当する事案の要請があれば、派遣したい。 ・ さらに、国連、国際機関の統計ポストへの応募による派遣についても公募情報は関係府省に提供し、個別要請は担当府省に照会している。当室に該当するポスト公募があれば、前向きに応募を検討したい。

国際統計人材育成チェックリスト（ 年度）

1 記入対象

	人
統計関係職員数	
うち 国際業務に関わる職員数	

注 年度初の人数を記入
「統計関係職員数」とは「統計機構等調べ」での統計関係職員数と同義
「国際業務に関わる職員数」とは内規等で所掌事務が国際に関することと明記されている職員の数
兼務等の場合は、主たる業務が国際業務の場合にのみ国際業務に関わる職員数にカウント

2 海外派遣（海外赴任、専門家派遣等）

	件	人	うち 長期
(1) 国際機関			
(2) 外国政府の機関等			
うち JICAの技術協力専門家派遣			
(3) 留学による海外滞在			
(4) その他、青年の船等による海外滞在			

注 国際機関には日本国内に所在するものを含む
長期とは、移動日を含め1年を超える人

3 海外出張

	件	人
(1) 国際会議		
うち プレゼンテーション（発表）		
役職（議長、パネラー等）		
(2) 視察、情報収集、意見交換 等		
うち JICAの技術協力関係		

注 引き続き複数の国際会議に出席した場合、会議の前後に統計関係機関等を訪問した場合は、それぞれ1件としてカウント
役職を務め、発表を行った場合には、それぞれ1件としてカウント
JICAの技術協力関係とは長期及び短期の専門家派遣以外の調査団、セミナー講師等

4 国際会議（統計関係）の開催

	件
(1) 主催	
(2) 共催	
(3) 後援	

注 国外で開催したものを含む

5 国際統計研修及び語学研修

	件	人
(1) 国際統計研修		
国内		
うち 総務省統計研修所		
うち アジア太平洋統計研修所		
国外		
(2) 語学研修		
府省内		
府省外		

注 語学研修とは国内で人材育成を目的として官費で実施したもの
語学の通信教育については、職場で受講するなら府省内、自宅なら府省外

6 海外からの受入れ

	件	人
(1) 視察、意見交換等		
(2) 技術協力研修生等		
うち JICAの技術協力枠		
(3) その他(実務研修等)		

注 受入れ対応した実績であり、府省間で重複可
「(3) その他(実務研修等)」は外国政府職員等が訪問以外で、駐在実務研修、研究を行う場合

7 海外との情報(統計関係)交換

該当欄に○を記入

	日常的に	月数回	年数回以下
(1) 国際基準や先進国の事例を情報収集しているか？			
(2) 国際関係の照会に対応しているか？			
	全部	大半	一部
(3) 統計報告書は英語利用者が理解できるようになっているか？			
(4) ホームページの内容は英語利用者が理解できるようになっているか？			

数を記入

(5) 英語で作成した刊行物数	
(6) 英語で提出した論文数	

注 (1) 及び (2) については、「3 海外出張」で対応したものを除き、また、府省等内の部局で対応差がある場合には頻度の多い方に○
「(5) 英語で作成した刊行物数」とは、統計報告書以外で、海外への情報発信を目的として英語で作成した白書、業務紹介パンフレット等の数
「(6) 英語で提出した論文数」は「3 海外出張」での発表を除く

8 その他

上記以外に独自に国際人材育成等として取り組んだことがあれば記入

--

総務省（統計局）回答

（４）国際的な分野での人材育成について

確認すべきとされた事項	回答
①国際統計分野で活躍できるような職員の養成について、どのような考え（方針）をお持ちかご教示いただきたい。	統計は世界共通の国家行政の基盤であり、統計の国際基準の策定にあたってわが国の実情を反映することの重要性や、個々の統計において諸外国のベストプラクティスに関する情報を収集することの重要性を鑑みると、統計分野において国際的に活躍できる職員の養成は極めて重要であると認識しているところ。 統計局としては、国際連合や OECD が主催する統計関係の会議や、その他の研究集会に積極的に参加し、情報収集のみならず日本の状況について情報発信しており、今後とも積極的な取組を進めていくこととしている。 また、上記取組に資するため、職員を対象とした英文ライティング研修などを実施している。当該研修においては、実際に国際会議で発表した英文原稿等を素材にして、英語での対外発信能力の付与に努めているところ。
②今後、海外の政府統計機関への派遣を行うことに対して取組の方向性はあるかどうか、ご教示願いたい。（例えば、Eurostat や Statistics Canada への短期研修等を検討してはどうか）	海外の政府統計機関とは、様々な国際会議の場を活用して、お互いのベストプラクティスに関する情報交換等を行っており、これによって双方の統計の質の向上に努めているところ。 海外政府統計機関への人材派遣については、定員上の制約などがあり、慎重な検討が必要と考えている。 なお、わが国からは、以下のとおり、途上国の統計担当職員に対する研修等の技術協力を行っているところ。 ・ JICA の技術協力プログラムによる、カンボジア統計局への職員派遣、研修の実施 ・ 国連アジア太平洋統計研修所（SIAP）への講師派遣

厚生労働省回答

(4) 国際的な分野での人材育成について

確認すべきとされた事項	回答
①国際統計分野で活躍できるような職員の養成について、どのような考え(方針)をお持ちかご教示いただきたい。	国際課等の国際関係部門での業務経験や語学力が一定程度ある者について、本人の意向を踏まえ、国際統計担当に配置し、国際会議（WHO-FIC、OECDヘルスデータ担当者会合等）、などへ参加させることにより、更なるスキルアップを目指す。 また、国際統計担当職員が中心となった研修を行い、一般職員に対しても国際統計の重要性の理解を促す。
②今後、海外の政府統計機関への派遣を行うことに対して取組の方向性はあるかどうか、ご教示願いたい。（例えば、EurostatやStatistics Canadaへの短期研修等を検討してはどうか）	現在のところ、予定はない。 なお、予算が確保でき、条件に該当する職員（語学力等）がいる場合には検討する。

農林水産省回答

(4) 国際的な分野での人材育成について

確認すべきとされた事項	回答
①国際統計分野で活躍できるような職員の養成について、どのような考え(方針)をお持ちかご教示いただきたい。	現在、当省では、アセアン地域の食料安全保障の確保に資するため、地域の農業統計センター的な機能を有する「アセアン食料安全保障情報システム(AFSIS)」の支援や国際協力機構(JICA)を通じた農林統計分野の技術協力等に取り組んでおり、国際分野で広く活躍できる人材が必要となっている。 このため、国際統計分野での活躍の前提として農林水産省内の国際関係部署や在外公館などと人事交流を行い、国際関係業務の経験を積ませ、統計分野における国際派遣等に対応できる人材育成を行うとともに、国際協力機構(JICA)を通じた国際協力において、研修講師、調査団、短期専門家の派遣等OJTの形式で国際統計分野で活躍できるような人材の育成を行っている。
②今後、海外の政府統計機関への派遣を行うことに対して取組の方向性はあるかどうか、ご教示願いたい。(例えば、EurostatやStatistics Canadaへの短期研修等を検討してはどうか)	現在、農林水産省は、アセアン地域の食料安全保障の確保に資するため、地域の農業統計センター的な機能を有する「アセアン食料安全保障情報システム(AFSIS)」を支援しているところであり、平成23年1月以降、AFSIS事務局(タイ)に日本人専門家を派遣することとしている。

経済産業省回答

(4) 国際的な分野での人材育成について

確認すべきとされた事項	回答
①国際統計分野で活躍できるような職員の養成について、どのような考え(方針)をお持ちかご教示いただきたい。	AMEICC(日・アセアン経済産業協力委員会;製造・商業統計の整備・強化)、EAMS(東アジア製造業産業統計専門家委員会;アセアン諸国の統計比較のための製造業共通分類整備)、ベトナム(月次生産統計・指数の開発)、中国(日中国際産業連関表作成)などの統計技術協力事業への長・短期専門家の派遣等を通して、相互の職員の育成に努めている。
②今後、海外の政府統計機関への派遣を行うことに対して取組の方向性はあるかどうか、ご教示願いたい。(例えば、EurostatやStatistics Canadaへの短期研修等を検討してはどうか)	これまでASEAN、中国等への各種統計開発・整備に関し、当省職員の派遣を実施しており、今後も海外からの要請に応じ派遣等を行う。